

○平成29年度第1回農地中間管理事業評価委員会を開催しました。

(平成29年6月12日 公社会議室)

農地中間管理事業の実施状況の評価などを行う標記評価委員会を開催しました。

当日は5人の委員全員の出席があり、平成28年度の事業の状況について意見や評価をいただきました。 ⇒評価意見 次ページのとおり



平成 28 年度岩手県農地中間管理事業の実施状況に対する意見

平成 28 年度の岩手県における農地中間管理事業の実施状況については、目標面積（3,600 ヘクタール）に対し、借入 2,513 ヘクタール、貸付 3,165 ヘクタールと目標を下回ったところであるが、機構集積協力金の交付単価の変更や実施地域が平場地域から耕作条件が不利で担い手の少ない中山間地域に移行したこと等を考慮すると、借入面積、貸付面積とも全国 2 位の実績は、一定の評価はできる。

農用地の利用の効率化及び高度化の促進に向け、中山間地域の担い手対策を含め、今後、以下の事項に留意し効果的に事業を進めること。

- 1 農業委員会との連携を強化すること。
- 2 農地整備事業実施地区での取組を強化すること。
- 3 登録農地を拡大し、マッチングに努めること。

以上、農地中間管理事業の推進に関する法律第 6 条第 2 項の規定に基づき、当評価委員会の意見を述べる。

平成 29 年 6 月 12 日

公益社団法人岩手県農業公社
理事長 小原 敏文 様

岩手県農地中間管理事業評価委員会
委員長 佐藤 和憲